

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 0 4 号
件 名	B R T 計 画 の 抜 本 的 見 直 し を 求 め る こ と に つ い て
要 旨	<p>現在の新潟市の財政は約 1 兆円の借金を抱える赤字倒産一步手前の財政状態になっています。</p> <p>1 兆円の借金は、毎年 100 億円返しても 100 年もかかる莫大な金額です。80 万市民 1 人当たり 125 万円もの借金です。</p> <p>この財政状況において、9,000 万円もかけて先ごろ実施された、新潟駅前東大通 2 での島式ホームと専用走行レーン社会実験は、ずばり交通渋滞と混乱を生ずる社会実験と言えます。</p> <p>新潟駅から日銀前までのバス運行の定時制、速達性を今以上に望んでいる市民が何人いるのでしょうか。</p> <p>社会実験の結果、市民、利用者は、島式ホームも専用走行路も望んでいないことがわかりました。</p> <p>乗車人員調査では、連節バス乗車平均 15.07 人で、普通バスのみでの運行で B R T 計画の目的を達せませす。</p> <p>連節バスの使用をやめて普通バスのみでの運行に切りかえ、島式ホームと専用走行レーンの設置を中止するよう、B R T 計画を抜本的に見直すことを求め陳情します。</p>
付 託 年月日 委員会	平成 28 年 12 月 8 日 環境建設常任委員会
受 理	平成 28 年 12 月 5 日 第 5 2 8 号